

第3回京都大学“超”SDGs シンポジウム & 博覧会 「プラスチックと持続可能性」 ご協賛・ご参画のご案内



京都大学“超”SDGsシンポジウムは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2020年1月
京都大学

※本企画書に記載されている企業様名は原則として順不同となっております。悪しからずご了承くださいませ。

企画趣旨

SDGsにおける世界大学ランキング国内第1位の京都大学が、
“超”SDGsシンポジウムの3回目のテーマに選んだのは、ズバリ、プラスチック！

第1回「食と持続可能性」、第2回「資源・エネルギーと持続可能性」に続き、第3回は「プラスチックと持続可能性」をテーマに、学生、社会人、研究者の枠を超えた、多世代、多分野が交流し議論できるリアルディスカッション型のイベントです。

2019年6月に発表した「京都大学プライド宣言*」と「京都大学プライドチャート**」が環境省や科学技術振興機構(JST)等、国内外のさまざまな場面で非常に高い評価を受けており、今回のシンポジウムへの期待も高まっております。また、全国市区SDGs先進度ランキング1位の京都市とも、強く深く太く連携。さまざまなプロジェクトを推進しています。

今回は、基調講演、パネルセッション、セミナー、ワークショップなどによるシンポジウムに加え、企業、自治体、学生、研究者などが自身のプラスチックへの取り組みを発表し意見交換する「京都大学プライド博覧会(京大プラ博)」を併催。

さらには京都大学や京都市を舞台にした実証実験などの中長期的な取り組みも用意し、より具体的な社会への貢献やインパクトを示すイベントになります。

是非とも本企画をご覧いただき、ご協賛・ご参画いただけますよう、お願ひいたします。なお、これらの取り組みは、京都大学の独自性を活かしつつ、協働・共創で進めるものです。様々な視点からのご意見、ご示唆、ご助言、具体的なアイデアをお寄せください。



* 京都大学プライド宣言(当初、プラヘラス宣言として発信; 詳細後述):

京都大学の学生が中心となり、持続可能なプラスチックとの付き合い方を考え実践につなげたり、早期に減らすべきプラスチックの削減を促進するなど、実践的検証によるアクションプランをともなった宣言。

* 京都大学プライドチャート(詳細後述):

世の中にあふれるプラスチックを分類し、プラスチックとの持続可能性、行動や政策等の方向性を探るツールとして、京都大学(エコ～るど京大)が独自開発。₁

実施体制

第3回京都大学“超”SDGsシンポジウム&博覧会「プラスチックと持続可能性」

- ・ 主催 : 京都大学
(地球環境学堂、調和ある地球社会研究ライトユニット、環境安全保健機構附属環境科学センター、エコ～るど京大、産官学連携本部 ほか)
 - ・ 共催 : 京都超SDGsコンソーシアム(京都大学、京都市、日本たばこ産業(株)、安田産業(株)、(株)リコー他) ほか
 - ・ 開催日: 2020年3月12日(木)～15日(日)※プログラムごとに実施日が異なる場合があります。
 - ・ 会場 : 京都大学(百周年時計台記念館、NSホール、芝蘭会館など)
 - ・ 内容 : <シンポジウム> 基調講演、パネルセッション、セミナー、ワークショップ、交流バングケット、実証実験発表、ほか
<博覧会> ポスター・ブース展示、口頭・ポスター発表、セミナー、博覧会ツアー、交流・マッチングコーナー、ワークショップ、回収実験 ほか
 - ・ 協賛、参画企業・団体数: 約100社
 - ・ 参加者(見込み): 約3,000名
 - ・ 企業連携窓口(予定): 京大オリジナル
 - ・ 連携機関(予定): 環境省、京都市、JST、日本財団、関西SDGsプラットフォーム ほか
 - ・ 連携メディア(予定): 朝日新聞社メディアビジネス局、毎日新聞社 ほか
- ※詳細・最新情報は、WEBで発信予定

ご協賛・ご参画メリット

- **自社研究、サービス、商品の発表の場として**

既存商品のプロモーションから未発表商品等の需要などのリサーチ等、様々なに活用していただけます。

また、環境省をはじめJSTや京都市等からゲストとしてVIPを招聘する予定です。直接アピールする機会となります。

- **他者研究、サービス、商品を知る場として**

共同研究や事業のパートナーなど新たなコラボレーション先の発見やマッチングの機会を提供します。

- **最新事例、最先端研究に触れる場として**

京都大学等のアカデミアとしての研究事例等も紹介します。

また、京都大学の研究者や学生等との協働プロジェクトなどにつながる可能性もあります。

- **さまざまな世代の人と議論する場として**

特に小中高校生等の若い世代への参画を強く呼びかけます。将来世代の息吹を感じ、交流頂けます。

- **京都大学プライド宣言とのコラボレーションの機会として**

京都大学プライドチャート等を用いた、皆様の製品・サービスに関する分析が可能です。

皆様の提供されている商品・サービスが、社会的にどこに位置付けられ、どこに向かうべきか、一緒に考え、議論させて頂ければ幸いです。

プログラム概要【第3回京都大学“超”SDGsシンポジウム 「プラスチックと持続可能性】

【基調講演およびパネルセッション、ステージ企画(案)】

京都大学総長による挨拶

環境大臣による基調講演

京都市長、JST、企業、主要メディア等による最先端事例の発表と

パネルセッション

テーマ別のトークショー

ファッションショー ほか

※今後、皆様からのご意見や、登壇者のスケジュールにより、調整いたします。



御社トップによるプレゼンテーションで聴衆を惹きつけるチャンスです！

開催日程：

2020年3月12日(木)～15日(日) ※この間の1～3日間

開催場所：

京都大学時計台百周年記念館 百周年記念ホールなど



第2回シンポジウムでは、パネルセッション参加者やスタッフが全員、着物を着用。華やかに演出。

プログラム概要【第3回京都大学“超”SDGsシンポジウム 「プラスチックと持続可能性】

【セミナー/ワークショップ】

京都大学プライド宣言の周知及び実践に加え、
超SDGsのコンセプト達成を目的とした各種イベントやプログラムの展開
(ex.)

全参画組織、参加者による動画投稿ワークショップ

日本・世界の英知による京都大学プライドチャート討議

新聞社主催による小中学生による取材・新聞作成WS

おむつの未来・自治体会議

文化から考えるプラスチック

海とプラスチック

万博に向けた自治体のSDGs地域パビリオン化プログラム

かえってきた超SDGs道場

SDGs教育交流会 ほか

実施日程(予定):

2020年3月12日(木)～15日(日) ※この間の1～4日間(ただし、事前より準備あり)

開催場所:

京都大学時計台百周年記念館 百周年記念ホール/国際交流ホール

芝蘭会館 稲盛ホール/山内ホール、総合研究8号館NSホールなど



御社の取組みや課題を
ワークショップなどのプロ
グラム化も応相談！

プログラム概要【京都大学プライド博覧会(京大プラ博)】

プラスチックとの持続可能な付き合いを考えるというコンセプトのもと、素材開発業、製造業(利用メーカー)、小売・サービス業、廃棄物処理・リサイクル業など様々な分野の企業や自治体、NPO、さらには研究者、学生、消費者が、それぞれの立場でポスター・ブース展示やプレゼンテーションを行い、意見交換を始めとする積極的な交流が行われる活気ある博覧会。

多数の団体様による積極的なご参画をお待ちいたします！

出展例：

プラスチックの**3R+リニューアブル**の観点から、

持続可能性を社会に提供できる製品やサービス、アイデア

(ex)リデュース : 脱・減シングルユースプラ対策、**水／ドリンク等サーバー、浄水器**…

リユース : 化繊のぬいぐるみや衣料、バック類、文具や家具類…

リサイクル : 分別・リサイクルの技術やシステム…

リニューアブル: 代替品、バイオプラなどの代替素材開発、それらを使った製品…

その他、プラスチックとの持続可能な関係性を模索するあらゆる主体の活動等

出展期間：

2020年3月12日(木)～15日(日) ※二期に分けるなどの可能性もあります

出展場所：

京都大学時計台百周年記念館国際交流ホール、芝蘭会館、NSホールなど



特に今年度は、マイボトル・マイカップ普及、PETボトル削減の提案、求む！
※中長期のモニター実験についても後述

博覧会やシンポジウムと連携した実証実験・プロジェクト

【実証実験・プロジェクト】 ※個別にご相談の上、進めさせて頂きます。



ご関心あれば、
ご連絡ください。

中長期にわたって、京都大学・京都市をフィールドにし、
産学公連携で行う実証実験・プロジェクトの展開
(ex.)

京都大学プライドチャートの進化や調査

#カバンの中のプラ SNSキャンペーン

PETボトル削減実験の実施

ぬいぐるみ等のリユースシステム構築

プラスチックの循環利用を促進する素材選択やラベリングへ

カバンの中のプラ
20人のかばんの中に
総計1652個 平均82.6個
のプラスチック製品が
ありました。



PETボトル削減・マイボトル普及の提案を求む！

※京都大学では、短期ターゲットとして、環境配慮型PETボトル削減モデルの構築を目指します。2020年3月から数カ月間、モニター実験等を展開したいと考えています。技術・システムやアイデアをお持ちで、京都大学と協働して、モニター実験や効果検証を行ってくださる企業等の方、積極的にご提案ください。

リユースやリサイクルのインフラ開発にご関心があれば、是非お問合せください。

実施日程： 2020年2月～

※博覧会やシンポジウムをキックオフや中間報告とし、数カ月程度、継続して実施し、
モデル化を目指す。

実施場所：京都大学学内や京都市内等



Thank You! 「始末の心」特別プロジェクトNo.1 リユース回収キャンペーン

ぬいぐるみ＆フィギュア集めます！

京都と世界を、物と想いでつなぐ、リユースプロジェクト

・企画主旨

3Rの中でも優先すべきとされるリユースとリサイクル。特にリユースは、昔ながらの知恵に支えられたものが多く、まさに「始末の心」の象徴です。最近では、シェアリングエコノミーが拡大しつつあると言われていますが家庭やオフィスには、リユースを待っている物がまだ沢山眠っています。これらが最終処分されてしまう「もったいない」状況になる前に、リユース回収を象徴的に行うことで、改めてリユースの位置づけを印象付けます。それによって、物の価値が活かされつつ、環境負荷が低くなる持続可能なリユースシステムの構築を目指します。

・企画のポイント

- 今回のターゲットは、子供から大人まで参加頂ける**ぬいぐるみと、フィギュア！**手放しにくいものですが、この機会に、物の価値と、想いを委ねて頂くよう促します。
- 回収品それぞれの特性に応じて、**会場内→市内→国内→海外**と、重層的にリユース(やむを得ないものはリサイクル)を行い、物の価値の最大化と環境負荷の最小化、両者のバランスの最適化を目指します。
- 得られた収益の一部は、国内外の教育支援団体・災害支援団体へ寄付し、想いも最大限に活かします。
- リユースやリサイクルで課題になるトレーサビリティ。得意とする幹事企業と連携して取り組み、後日結果を公表。

・幹事企業・組織

ecommit、安田産業、京都市 ほか

・スケジュール(予定)

- | | |
|---------------|--|
| 1月～3月 | 告知及び回収イベント(プラドライブ)実施団体募集 |
| 3月12日～15日(予定) | 博覧会会場に回収ブースを設置しての回収。「早速、リユース！」企画の実施 ほか |
| 4月上旬 | 大丸京都店と連携したリユース回収キャンペーン第二弾(ネクタイ等を追加予定) |
| 5月～6月 | エコ～るど京大初夏の陣にて、実施報告(トレーサビリティ結果の報告を含む) |
| 6月 | 京都大学超SDGsシンポジウム「アジア・アフリカと持続可能性」でのキャンペーン展開、寄付先とのコラボ企画 |
- ※2020年度以降、回収の常設化、品目の追加、他都市への拡大等も検討

回収協力企業・団体募集！

個人持ち込み(3/12-15)の他、拠点等を設けて回収してくださる企業や団体も募集します。

エコ～るど京大による過去の企画例

★Kistory(キストリー)
全国に4億枚眠ると言われる着物を寄贈していただき、若い世代にバトンタッチ。これまでに数百枚を回収・活用。(京都着物企画と連携)



★マイエコバッグ回収
大丸京都店と連携して回収。2日間で5百枚。



★風呂敷回収

京都府内を中心に千枚強を回収。国際会議や風呂敷教室、土産物のエコ化実験にて活用。

「始末の心」特別プロジェクトNo.2 素材別リサイクル回収実験

プラスチックX(エックス)分別回収実験(仮)

循環・リサイクルの最先端と未来につながるX個の回収BOXが出現！

・企画主旨

プラスチックの循環・リサイクルについては、様々な議論があります。それらも受けて、循環素材の開発、リサイクル技術・システム、関連製品加工技術等は日進月歩で、実用化間もない技術・システムや、開発された暁には世の中を大きく動かすものもあります。そこで、その**最先端と未来を一挙大公開**すると同時に、改めてプラスチックや代替品の素材・製品の個性や価値を認識する契機とするため、**循環・リサイクルにつながるX個(30程度を想定)の分別回収BOXを設置**します。単一の素材のものを集めて回収することでより精度の高い循環・リサイクルを実現します。



回収BOXもインパクトと機能性あるデザインに

BOXデザインは、アイデア・デザイン公募／芸術系組織とのコラボレーションを想定しています。

・企画のポイント

- 通常「プラスチック」と一括りにされがちですが、**さまざまな特性を持った多様な素材**が存在します。これを、製品や素材名で分別・回収することで、プラスチックの多様性を認識し、持続可能な関係性構築の可能性を探ります。
(例:PETボトル→衣類やPET、CDディスクなどのポリカーボネート(PC)→X、食品トレーなどのPSP→X、電子たばこ→Xなど)
※複合素材等の課題認識や技術要請、社会提案にもつながると考えます。
- プラスチックのリサイクルのみならず、石油系プラスチックの代替素材も対象とし、幅広い選択肢を提示します。
(例:天ぷら油→バイオマスプラスチック、木粉→ウッドプラスチックなど)
- 回収物の先には、実際に素材活用可能な企業等を紐づけることで、実感と透明性を示します。
- 得意とする幹事企業と連携して取り組み、後日結果を公表します。

・幹事企業・組織

リコージャパン、ecommit、日本たばこ産業 ほか

・スケジュール(予定)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 12月～3月 | 参加企業・団体募集、告知 |
| 3月12日～15日(予定) | 博覧会会場に回収BOXを設置しての回収。展示やWS等の実施ほか |
| 5月～6月 | エコ～るど京大初夏の陣にて実施報告(トレーサビリティ結果の報告を含む) |
| ※2020年度以降、一部素材回収の常設・キャラバン化、品目の追加等も検討 | |

次のような企業・団体募集！

- プラスチックのリサイクル技術・システムを持っている
- 上記を開発中
- 製品別回収を行いたい
- 石油プラ代替素材のリサイクル技術・システムを持っている
- 上記を開発中
- その他、関連したアイデア、大歓迎！

女性のための“ココロ豊かにする”プライドフォーラム(仮称)

・企画主旨

女性の視点や感性からSDGs全体やプラスチック問題深く切り込んでいく。

朝日新聞、講談社FRaU、京都大学ががっちりタッグを組み、会場も巻き込んだ議論をするパネルディスカッションをはじめ、バラエティーに富んだコーナーを展開し、ここから出たアイデアで実際のものづくりも変えていこうという、リアル提言型のフォーラムであり、今回の成果や論点を次へと繋いでいく継続性を意識します。

・企画概要

名称:朝日・FRaU「女性のための“ココロ豊かにする”プライドフォーラム(仮)」

主催:京都大学、朝日新聞社メディアビジネス局、講談社

日時:2020年3月14日(土)午後or15日(日)午後 ※120~150分想定

会場:京都大学 時計台 百周年記念ホール

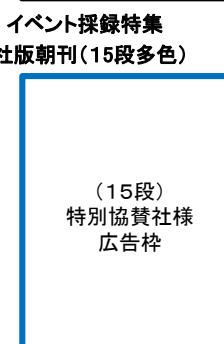
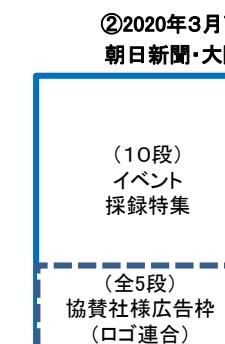
定員:500人(無料・事前申し込み制)

募集方法:朝日新聞紙面、web等での告知



①2020年2月上旬 イベント告知

朝日新聞大阪本社版朝刊or夕刊 (5段、半5段×複数回)



②2020年3月下旬 イベント採録特集

朝日新聞・大阪本社版朝刊(15段多色)

・企画内容(案)

環境大臣によるビデオメッセージ(案)

基調講演:20代~40代女性への影響力、集客力

パネルディスカッション要素:

- ・プラとコスメ、ファッショ
- ・プラとショッピング(参加者的に百貨店でのお買い物をイメージ)
- ・プラとトラベル(ホテルアメニティー、スーツケースのリユースなど)

女子大生によるリレートーク

会場とのリアルタイムディスカッション(#カバンの中のプラ)

脱プラファッショショ(芸術大学とのコラボレーション)

脱プラInstagramシューティングレッスン

協賛企業大募集!

冠協賛(このイベントタイトルに貴社名を!)

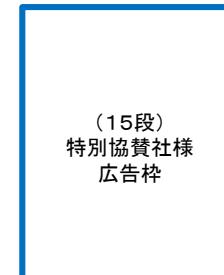
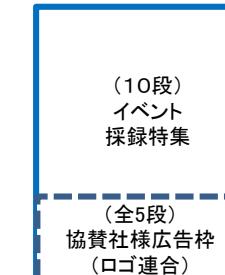
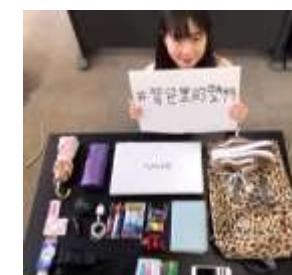
ディスカッションに貴社担当者が登壇

朝日新聞紙面/FRaU WEBでの露出

ブース展開、会場での女性へのサンプリングと拡散

ほか協賛メリットを貴社業態や商品によってカスタマイズ!!

※別途詳細企画書により追加でご提案させていただきます。



毎日SDGs子ども新聞～2025万博からその先の未来へ～(仮称)

・企画主旨

1964年より続く「あなたの愛の手を」運動、1979年から続く「世界子ども救援キャンペーン」など、子どもをターゲットとした社会貢献企画を、長期にわたり展開している毎日新聞。
また、1970年万博のテーマ曲『世界の国からこんにちは』は毎日新聞による公募から誕生し空前の大ヒットに。
そんな「子どもへの取り組み」×「万博への想い」から、小学生が取材や執筆体験をする「子ども記者にチャレンジ！」を、2025年万博に脈々と繋げ成果を上げていくアクションとして、今回のシンポジウムのタイミングで立ち上げます。



・企画概要

名称:毎日SDGs子ども新聞～2025万博からその先の未来へ～(仮称)
主催:京都大学、毎日新聞社、(科学技術振興機構JST、2025年日本国際博覧会協会)
日時:パネル展示=2020年3月12日(木)～15日(日)
子ども記者にチャレンジ=3月14日(土)、15日(日)、1日2回×2日(1回2時間のプログラム)
会場:京都大学 芝蘭会館 山内ホール、ピロティー もしくは総合8号館NSホール
定員:小学生1回10～15人×4回
募集方法:毎日新聞紙面

①2020年2月21日 毎日新聞創刊記念日
特集大阪本社版朝刊



・企画内容(案)

- 「世界子ども救援キャンペーン」パネル展示～報道記者による報告セミナー
- 「子ども記者にチャレンジ」
 - 取材紙面づくりのレクチャー
(SDGsとは。万博とは。新聞づくりとは。)
 - 各会場、各パネルを取材
(どのSDGsへの取り組みが万博に繋がるか。)
 - 戻ってきて新聞づくり



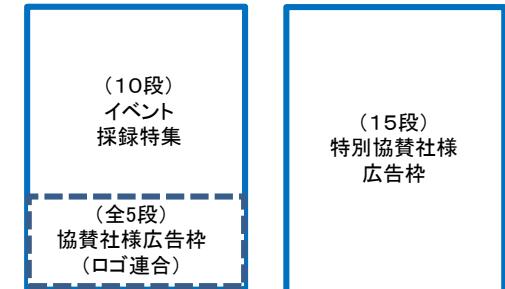
協賛企業大募集！

御社の取り組み(出展ブース)を子ども記者が徹底取材！
事前レクでも御社のアピールが可能です。
ここをキックオフとして、万博までの取り組みをご一緒に締めると
いうやり方も。
毎日新聞での事前告知、採録記事掲載時に広告露出。
※別途詳細企画書により追加でご提案させていただきます。



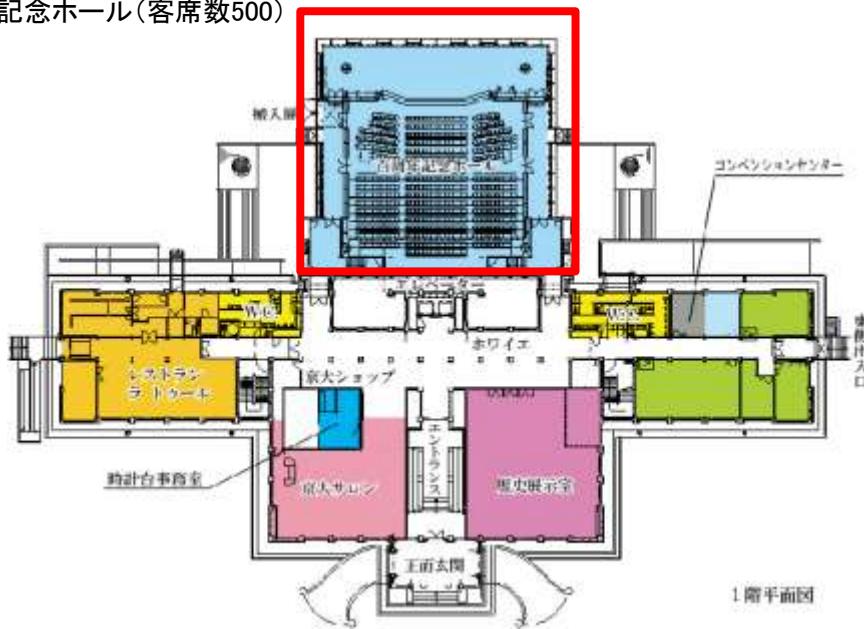
創刊148周年の記念紙面で、2021年ワールドマスターズゲーム、
2022年毎日新聞150周年、2024年うめきた全面開業、2025年万博、
2030年SDGs達成などの未来地図を描く特集を予定。
ここに、今回のシンポジウムの開催予告を掲載予定。

②2020年4月中旬～下旬 イベント採録特集
毎日新聞・大阪本社版朝刊(15段多色)



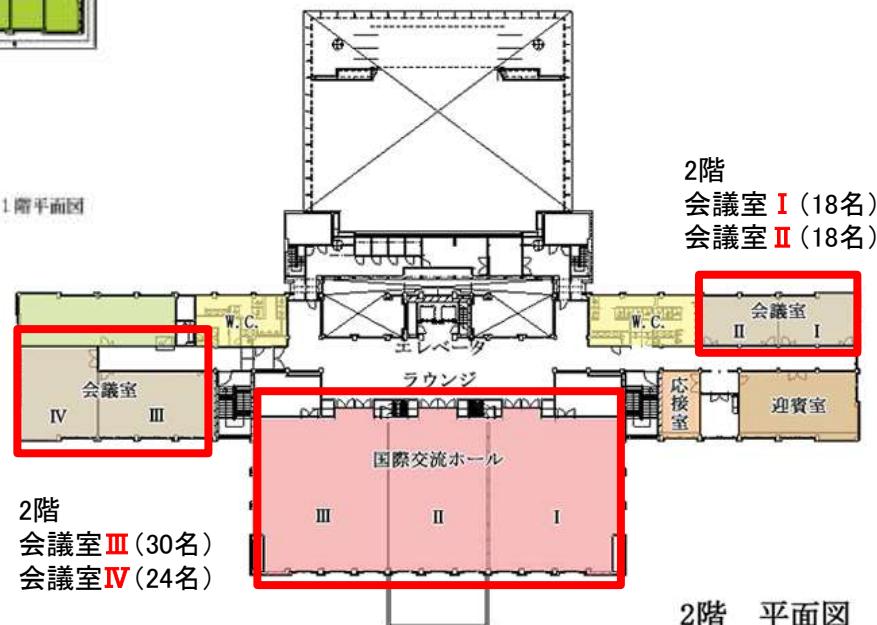
【参考】会場候補地平面図①

京都大学百周年時計台記念館 1階
百周年記念ホール(客席数500)



1. 扇平面图

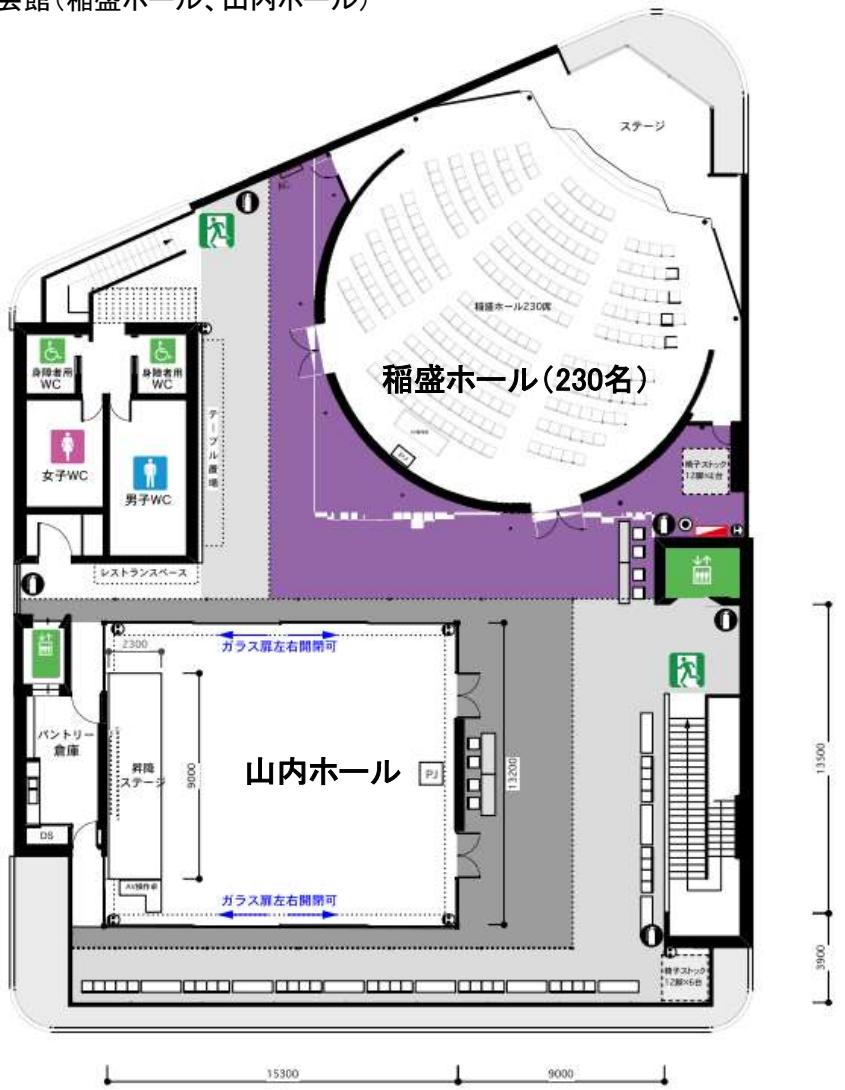
2階
会議室Ⅲ(30名)
会議室Ⅳ(24名)



2階
国際交流ホール I (100名)
国際交流ホール II (100名)
国際交流ホール III (100名)

【参考】会場候補地平面図②

芝蘭会館(稻盛ホール、山内ホール)



総合研究8号館3階(NSホール)

平面図
現在手配中

【参考】京都大学プライド宣言

京都大学プラヘラス宣言～減らしながら考え、考えて減らす。～ エコ～るど京大 2019年6月27日



京大生が「プラスチックを減らすこと」について考えてみました。



国内外から高く評価頂いております。
詳細や最新情報は、WEBをご覧ください。

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/>

なぜプラスチックを減らすのでしょうか？

素材としての利用が始まってから1世紀足らず。

その軽量・高可塑性・安価といった優れた性質を活かし、いまや私たちの暮らしすべてを形作っているといつても過言ではないプラスチック。
しかし、その原料は主に枯渇性資源である石油であり、

世界中で日常的に大量生産・大量消費され、大量廃棄されているのは疑いようのない事実です。

どのプラスチックを減らすのでしょうか？

レジ袋などのシングルユースプラスチックは、以前より削減が進められてきました。

同時に、流通量が圧倒的なペットボトルへの対策も重視されています。

最近では、海洋プラスチックやマイクロプラスチックの問題がムーブメントを加速させています。

しかし、これらはプラスチック利用のほんの一部分であり、**大部分は削減に向けた対象として広く認知されていない**のも事実です。

どのようにしてプラスチックを減らすのでしょうか？

国や地方自治体、さらには企業や団体により、

3Rをはじめリニューアブルなバイオ系の素材開発や高機能化などの取り組みが広がっています。

また、個人による努力や工夫を行う人も増えてきました。

しかし、プラスチックに対する意識や依存度がそれぞれに異なるため、社会全体としての足なみがそろわないことも事実です。

これまでのプラスチックを減らす取り組みに足りなかつたのは、

プラスチックの複雑性と多面性に対する理解の広がりや深まりではないでしょうか？

認識を広げ、対話を重ねることで、プラスチックとの付き合い方を考えることは、持続可能な社会の実現に向けて避けて通れません。

では、誰が、いつ、どこで、プラスチックを減らすのでしょうか？

そうです。京大生が、いま、ここで、動き始めます。

プラスチック問題の本質を捉え直し、徹底的に考え、議論し、行動してゆくことを、宣言します。

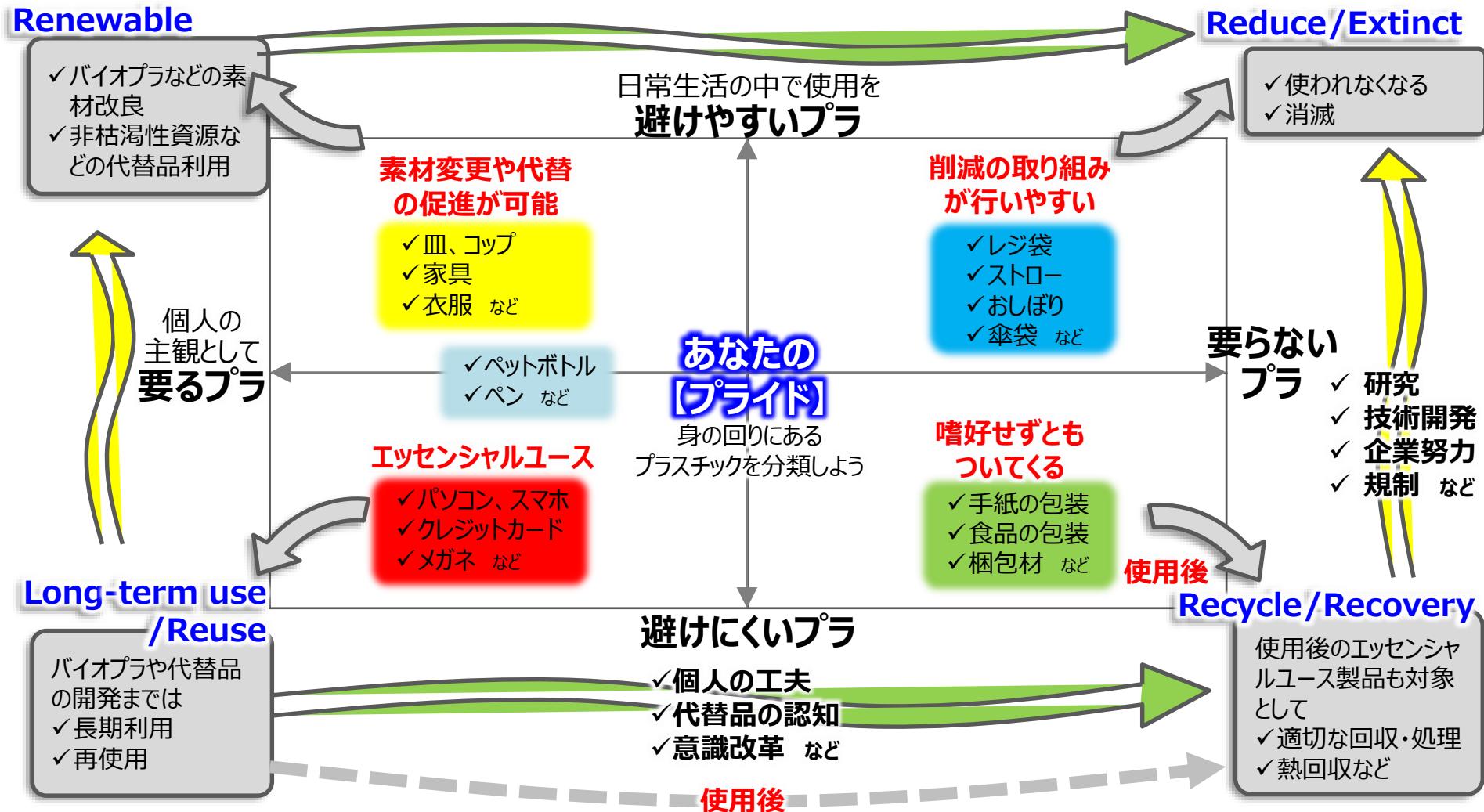
私たちは、この宣言を、プラスチックを減らす本質的な動きの源流となる希望を込め、

ソクラテスやプラトンやアリストテレスらを生んだ「学芸の源流」たる古代ギリシャの呼び名「ヘラス(Hellas)」をなぞらえ、

「京都大学プラヘラス宣言」と名付けます。【現在、これをプライド宣言として再検討中】

【参考】京都大学プライド(Plide)チャート(ver.1)

京都大学プライド宣言の中でも、評価の高い要素の一つ。Ver1では、身の回りにあるプラスチックを「個人の主觀として要るか、要らないか」「(客観的に)避けやすいか、避けにくいか」の2軸で分類。どのプラスチックがどこに位置するかを、個人及び集団として、視覚的に捉えると同時に、今後の取り組みの方向性を明らかにできるツール。現在、Ver.2～Ver.X、また、その大規模社会調査に向けて、鋭意更新中。なお、**プライド**、とは、プラスチックへの「**依**」存度を自覚しつつ、「**異**」論を唱え、「**意**」見を交わし、人としての「**威**」嚴を持って、「**以**」後の持続可能な付き合い方を考える、というふうに、様々な思いや指標を包含したものです。



【参考】第1回京都大学“超”SDGsシンポジウム 「食と持続可能性」

日時:2018年10月29日(月), 30日(火)

場所:京都大学百周年時計台記念館(国際交流ホールⅠ~Ⅲ、会議室Ⅰ~Ⅳ、迎賓室)
(京都市主催の食品ロス削減全国大会は百周年記念ホール)

参加者数:350人(食品ロス削減全国大会(400人)を加えると750人)



<主要プログラム>

基調講演

講演者:Rosa Rolle博士

(FAOシニアフードシステムオフィサー)

Lori Stahlbrand博士(トロント市食料政策局)

記念シンポジウム

登壇者:阪口功(学習院大学法学部)

杉本節子((公財)奈良屋記念杉本家保存会)

西村公子(株エフピコ)

スティーブン マックグリービー(総合地球環境学研究所)

酒井伸一(京都大学環境科学センター)

チャールズ ボリコ(FAO日本事務所)



Kyotoフードバンク分科会

食と持続可能性に関するセッション

フードポリシーことはじめワークショップ

映画『0円キッチン』上映会

ネットワーキングディナー



【参考】第2回京都大学“超”SDGsシンポジウム 「資源・エネルギーと持続可能性」 (サイエンスアゴラin京都として開催)

日時:2019年6月27日(木)

場所:京都大学百周年時計台記念館(百周年記念ホール、国際交流ホールⅠ～Ⅲ、会議室Ⅰ～Ⅳ)

参加者数:800人

＜主要プログラム＞

パネルセッション

登壇者:末吉竹二郎氏(気候変動イニシアティブ／WWFジャパン代表)

門川大作氏(京都市長)

山下良則氏(株)リコー社長)

山本昌宏氏(環境省 環境再生・資源循環局長)

高瀬幸子氏(近畿経済産業局通商部企画官)

真先正人氏(科学技術振興機構(JST)理事)

諸富徹氏(京都大学地球環境学堂教授)

コーディネーター:酒井伸一氏(京都大学環境科学センター教授)



地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム JST 地域産学官社会連携分科会

企業・団体向け「SDGs 入門」

国際 WS「レジリエントな低炭素社会の構想」

SDGs 事始めワークショップ

SDGs に関するもやもや感を少しでも解消!「超 SDGs 道場」

超 SDGs ネットワーキングディナー



主催:京都大学 共催:国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、

関西 SDGs プラットフォーム ほか

協賛・協力:(株)リコー、安田産業(株)、ヒューリック(株) ほか

お問い合わせ、お申込み窓口

ご協賛やご参画に関するお問い合わせは以下まで。

◆企画相談窓口: 京都大学調和ある地球社会(超SDGs)研究ライトユニット
京都大学地球環境学堂 浅利美鈴研究室
メール: ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp
電話: 075-753-5922

【申込締切】2020年1月末日

※その後も、露出機会が変わるかもしれません、随時受け付けております。